

宝くじの助成金で整備 江釣子7区自治会が備品購入

江釣子7区自治会は平成29年度コミュニティ助成事業を活用し、会議用のプロジェクターや除雪機のほか、イベントで使用する小・大太鼓などを整備しました。同事業は「一般財団法人自治総合センター」が市を通じて自治会などの団体に助成金を交付するものです。

これまで、同自治会には芸能発表で使用する太鼓などがなく毎回、借用していました。同自治会の菊池盛彌^{もりや}会長は「新しい備品がそろったので地域の皆さんと協力してまつりを盛り上げたい」と話していました。

整備した太鼓やはんてんなど、地域で盛り上がり期待されます



イメージした鬼や妖怪になるように、石を飾り付ける子どもたち

自分だけの「鬼」を作ろう 冬休みワークショップ

鬼の館「冬休みワークショップ」は12月23日・24日、1月14日の3日間、同館で行われました。同イベントは、鬼への興味・関心を広めようと同館が毎年開催。各回で異なるテーマが用意されました。

24日に行われた「ようかいペーパーウェイトづくり」では、子どもたちが羊毛と石で鬼や妖怪に見立てた重石を作製。思い思いに個性あふれる作品を作っていました。及川柚葉さん(和賀東小2年)は「さわやか鬼を作った。耳を付けて工夫した」と満足そうでした。

防火に向けて活動開始 北上市消防出初式

平成30年北上市消防出初式は6日、さくらホールで行われました。式典には市内の消防団、婦人消防協力隊など約1,000人が出席。消防活動に尽力した団体、個人に表彰状、感謝状が授与されました。

式典後、さくらホールから本庁舎まで団員による分列行進を実施。市民に向けた消防活動のPRと団員の士気高揚を図りました。第11分団第3部に所属する高橋司さん(52歳・和賀町藤根)は「1年間気を引き締めて活動する」と話していました。

勇ましく行進する消防団員たち。沿道には多くの市民が集まりました



カウンターでの貸し出し作業を体験する参加者(手前右)

図書館のスペシャリストに 体験「一日図書館司書」

体験「一日図書館司書」は11日、中央図書館で行われました。同体験会は、市内の小学5・6年生を対象に中央図書館が年2回開催しているものです。

参加者ははじめに館内を見学し、図書館の仕組みについて理解を深めました。その後は本の修理などのほか、カウンターでの貸し出し業務を体験。慣れない作業ながらも来館者に笑顔で応じていました。久保田美穂さん(黒沢尻東小5年)は「普段は入れない場所に入れて楽しかった」と話していました。

土器から歴史をひも解く

第25回埋蔵文化財展

第25回埋蔵文化財展「土器の歴史」は5～9日の5日間、ツインモールプラザ東館催事場で行われました。同展は埋蔵文化財センターが主催し、市内の発掘調査で明らかになった成果を紹介しています。

今回は市内で発掘された約950～8,000年前の土器約100点を展示。市民など約520人が訪れ、職員による解説などで土器の歴史について理解を深めました。佐藤奈美さん(大通り)は「形が当時のまま残っているのが不思議」と興味深そうに見学していました。

土器に関する職員の解説に聞き入る来場者



宿大乘神楽保存会の子ども4人により披露された棟上

伝統芸能を堪能

新春大乘神楽公演2018

新春大乘神楽公演2018は7日、鬼の館で開催されました。今年は市内の5団体が出演。大乘神楽最高の祈禱舞で、法印の資格を有した人のみが踊ることを許された特別な演目「榊舞」など12演目が披露されました。宿大乘神楽保存会は、初めて子どものみで「棟上」を披露。同会の川辺悠輝くん(二子小4年)は「緊張したけど踊りきれてよかった」と話していました。

公演後は会場で餅まきも行われ、来場した約240人は新春の催しを楽しんでいました。

地域の芸術文化振興に貢献

さくらホールが地域創造大賞を受賞

平成29年度地域創造大賞(総務大臣賞)が12月8日に発表され、さくらホールが受賞施設に決定しました。同賞は、地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに功績のあった公立文化施設を、「一般財団法人地域創造」が表彰しているもの。同ホールは、市民の文化活動拠点となるとともに、芸術に関する育成事業に力を入れていることが評価されました。

1月19日には都内で表彰式が行われ、高橋敏彦市長が代表して表彰状を受け取りました。

表彰式で表彰状を受け取る高橋市長



展示されたいわさきハニワを見学する来場者

地域の魅力をPR

「夏油高原いで湯ライン」を知ろう

「真冬のBBQで『夏油高原いで湯ライン』を知ろう」は13日、岩崎農産事務所で開催されました。同イベントは、「いで湯までのラインを楽しむ会」が市のまちづくりチャレンジ補助金を活用して実施。岩崎地区内から夏油温泉までの道のりを指す同ラインを再認識してもらい、地域活性化につなげることを目的とした事業の一環です。イベントでは、同地区民などが制作した「いわさきハニワ」を展示したほか、岩崎だんご汁などを販売。来場者に地域の魅力をPRしました。